

※注意：こちらは最新文書ではありません。
最新版は日本内視鏡外科学会ホームページにてご確認ください。

2022 年 9 月 5 日

ロボット支援結腸悪性腫瘍手術プロクターおよび
大腸領域のプロクター認定制度について（通知）

2022 年度診療報酬改定にて、ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術が保険収載されたことを受けて、結腸のプロクターおよびその申請資格が次の通り決定したのでお知らせします。

1. ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術プロクターについて

直腸のプロクターが、結腸のプロクターをすることはできません。
結腸のプロクターになるためには、別途認定を受ける必要があります。

2. ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術のプロクター認定の申請資格について

申請資格の詳細はロボット支援手術プロクター認定制度規則（消化器・一般外科）および申請の手引き類を確認のうえ、申請ください。

1) 直腸のプロクター認定を受けている場合
① ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術を 10 例以上執刀した経験があること。 ② 当会 e ラーニングにて配信する結腸に関するセミナー*を受講すること。 2024 年以降は、本学会が主催する、ロボット支援手術プロクター教育セミナーに参加していること。(会員限定コンテンツ内 e ラーニングでの受講は不可)
2) 直腸のプロクター認定を受けていない場合
① ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術を 40 例以上執刀した経験があること。

*こちらのセミナーは、現在 配信準備中です。また、本セミナーは暫定的なもので、今後、ロボット支援手術プロクター教育セミナーを実施しますので、将来的にはそのセミナーの受講が必須となります。

会員の皆様には、引き続き指針等を遵守いただきますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本内視鏡外科学会
理事長 坂井 義治
ロボット支援手術検討委員長 竹政伊知朗